



平成 22 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テスト  
代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰  
( J A S D A Q ・ コード番号 2694 )  
問合せ先 常務取締役 川上 一郎  
( TEL. 022 - 237 - 5566 )

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正並びに  
特別損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 12 日付当社「平成 22 年 3 月期 決算短信 (非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

また、特別損失の計上についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)  
(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,870	191	265	25	4.25
今回発表予想 (B)	8,897	△77	15	△451	△8.11
増 減 額 (B-A)	26	△268	△250	△477	—
増 減 率 (%)	0.3	△140.5	△94.2	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四 半期)	7,089	114	199	△181	△4.52

2. 平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	18,021	435	587	300	5.66
今回発表予想（B）	18,323	113	317	△199	△3.49
増減額（B－A）	301	△322	△269	△499	－
増減率（％）	1.7	△74.0	△45.9	△166.2	－
（ご参考）前期実績 （平成22年3月期）	15,966	263	401	292	6.69

3. 修正理由

当第1四半期会計期間（平成22年4月1日～平成22年6月30日）におけるわが国経済は輸出関連等一部の業種では企業の業績回復の兆しが見られるものの、株価の低迷や景気の先行きに対する不透明感から雇用に改善傾向が見られないことから引き続き厳しい環境で推移いたしました。

このような状況下、当社は、寿司、居酒屋等両業態において、前会計年度に続きグランドメニューの見直しや、期間を限定した「フェア」を定期的開催しお客様満足度の向上に努めてまいりました。寿司事業においては、グランドメニューの変更により、旬の食材をお客様に提供いたしました。また、お客様の来店動機を高める目的で4月は「特撰市」、5月及び6月は「逸品紀行」など期間限定フェア等を開催いたしました。また、居酒屋等事業においては、4月にはグランドメニューの見直しに加え新フェア「お魚が食べたい！！」を開催いたしました。さらに、売上高に対する管理コストの削減、事業上のシナジー効果を目的として、平成22年7月1日にフードインクルーヴ株式会社を吸収合併いたしました。その結果、合併による売上高増加要因と、競合店との競争激化等による既存店の売上高減少要因がほぼ相殺される見通しとなりました。また、既存店舗の売上高の減少、加えて、当該合併により、新たにのれんが6億64百万円発生したことなどから営業利益率が低下いたしました結果、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表を下回る見通しとなりました。

このような状況を踏まえ、平成23年3月期第2四半期累計期間および通期業績予想を修正いたします。

4. 特別損失の計上

「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）の適用に伴い当社は、平成23年期中第1四半期において期首時点で発生する影響額を特別損失に計上した他、不採算店舗の閉店、売却を進めた結果、特別損失として337,764千円計上いたしましたので内訳をお知らせいたします。

- ① 資産除去債務適用に伴う影響額 335,939千円
- ② 固定資産除却損 951千円
- ③ 固定資産売却損 874千円

以上